

メダン総領事館・海外安全対策情報（2015年1月～3月）

1 治安情勢

（1）治安情勢

依然としてメダン市及び近郊では、バイク使用による路上強盗、侵入強盗、薬物事案等の凶悪犯罪が多く発生しており、治安は悪い状態にある。また、凶悪犯罪者は薬物中毒者が多く、通常、彼らは刃物やけん銃等で武装しており、抵抗して危害を加えられることが多いため、身の安全を最優先した対応が必要。路上強盗被害のリスクのある徒歩やベチャでの移動は避け、比較的安全な車での移動を心掛けるなど、外出の際は十分な注意が必要。

（2）凶悪犯罪の事例

ア 暴走族による路上強盗

1月から2月にかけて、メダン市中心部において、暴走族による路上強盗が複数発生。バイクの運転手は襲撃され、バイクや貴重品を強奪された。

イ バイク使用によるひったくり

2月上旬の夜間、メダン市内において乗り合いバスから下車した外国人女性観光客が、路上においてバイク乗車の2人組にカバンを引ったくられた。

ウ パンク強盗

2月中旬の日中、メダン市中心部において、犯人が停車車両のタイヤの前に釘を置き、発車後に尾行。運転手が路上で降車しタイヤの損傷を確認しようとしたところ、犯人が車中の貴重品の奪取を試みたが、抵抗し叫んだため、犯行を察知した警戒中の警察に逮捕された。

エ 強盗強姦

2月下旬、メダン市中心部の旧ポロニア空港南方の路上において、男女がバイク1台で移動中、車両乗車の4人組に無理矢理停車のうえバイクを強奪され、さらに女性は車で連れ去られ強姦された。

2 自然災害

依然としてシナブン山は小中規模の噴火を繰り返すなど、活発な火山活動を続けており、防災当局も高いレベルの警戒を維持している。火口から半径5キロ以内は避難対象区域となっているため、同地域には近づかないことはもちろん、報道等で動向を注意する必要がある。

3 テロ・爆弾事件発生状況

関連情報はない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報はない。

5 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

6 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はない。

以上